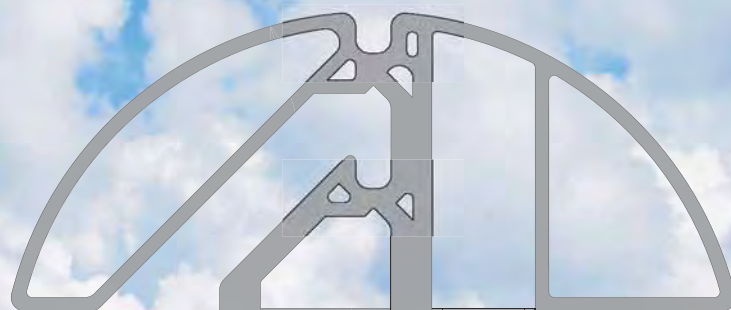


簡易吹付法砕工
緑の斜面を創作する
イージーシェルフ工法



全国法面防災協会

『イージーセルフ工法』は、緑の斜面の創作と防災を目的とする、簡易吹付法枠工です。

枠は自在性と施工性に富んでいるので、緑の空間を残した復元が可能となります。

イージーセルフ工法

- Aタイプ (350×150×1,500mm)
- Bタイプ (300×100×1,300mm)
- Cタイプ (350×150×2,000mm)
- Dタイプ (350×150×1,300mm)

用途

1. 法面の降雨や風化などによる小崩落や浸食を防止し、また枠内の緑化基盤材の安定と生育を助けることができるので、一般的なのり面保護工としての役割があります。
2. 自然斜面や切土斜面の崩壊やすべりに対する安定対策を行う場合、鉄筋補強土工などと併用させることで、樹木や表土をできるだけ残すことができます。
3. 荒廃した斜面を緑化で復元することができます。

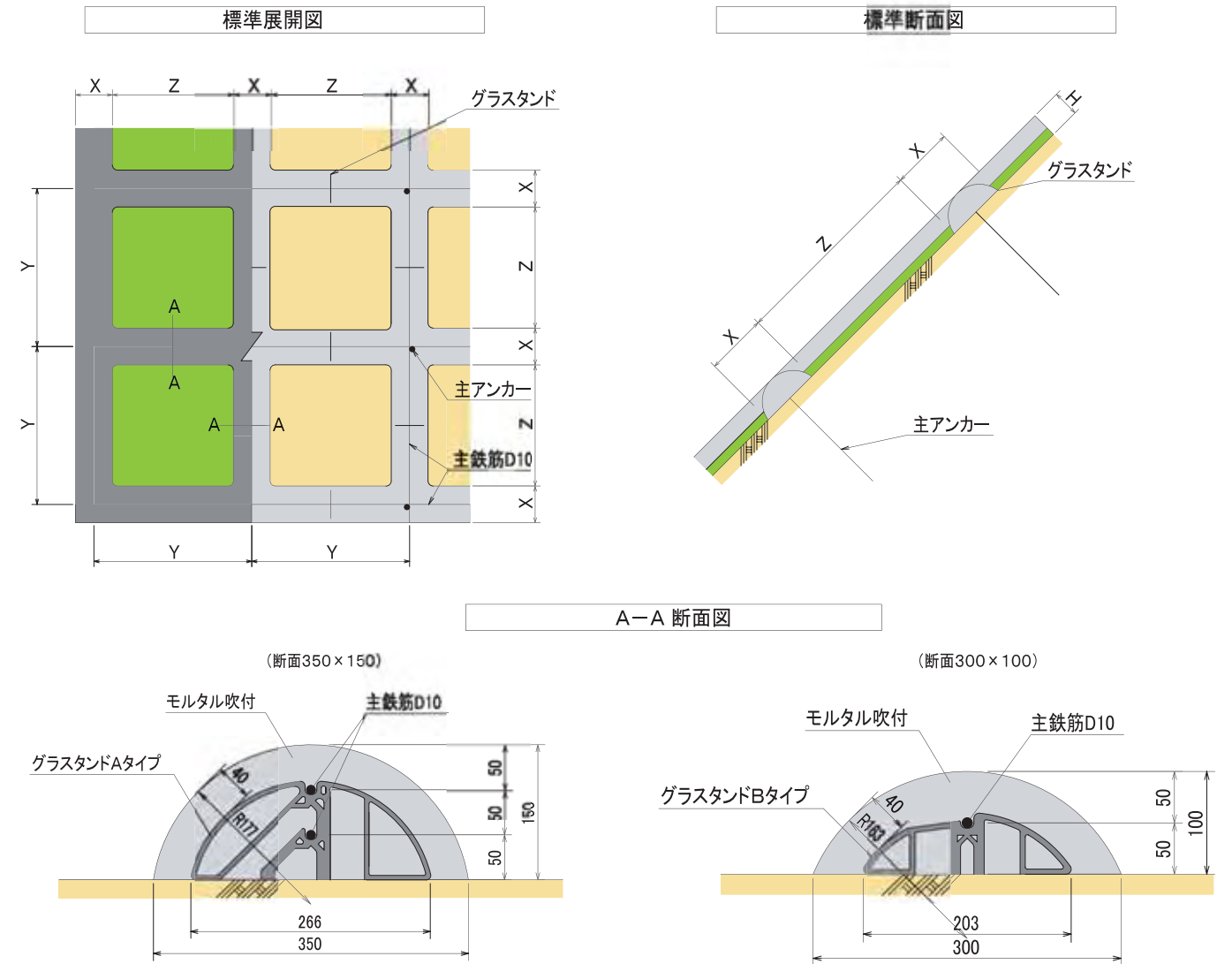
特長

1. 枠は現場打ち吹付枠とし、枠の骨組みは鉄筋と鉄製固定具(グラスランド)だけを使用するので、施工性が良く従来の吹付枠工と比べ、工期が短縮されます。
2. 自在性に富むので、既存の樹木や植物の育成基盤となる有機質表土を、できるだけ残すことができます。
3. 多少の凸凹がある場合でも吹付枠と地山が密着するので、表面浸食に対する抵抗が高まります。
4. 逆巻き施工もできます。
5. 経済性に優れます。
6. 固定具(グラスランド)を用いることにより、鉄筋位置をより確実に保持します。
7. 標準スパンに限らず、多種の枠スパンの設計が可能です。

グラスランドの特徴

1. 鉄板打ち抜き構造なので、外力による変形に強く、設計で定められた鉄筋位置に対して極めて高い保持力を発揮します。
2. グラスランドの外周サイズは出来型に対してどの部分もかぶりが40mm確保できるようにしており、吹付け後のクラック発生の低減に努めています。
3. 鉄筋を導き入れる切欠き案内内部により設置が容易で施工性に優れます。
4. 豊富に設けている開孔穴や切り込みによりモルタルの縁切りを解消すると共に、結束し易く施工性に優れます。
5. 重ねることが出来るので持ち運びが容易です。

■ 施工手順 ■

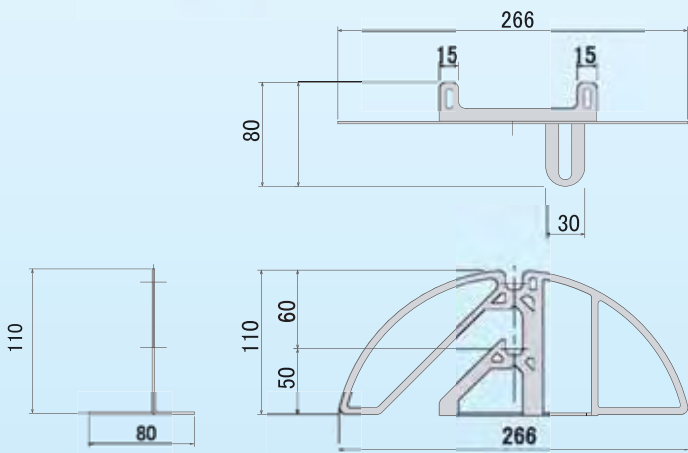
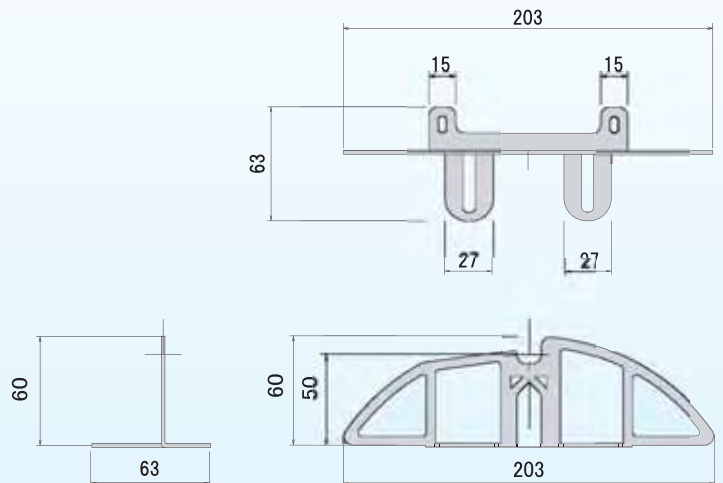
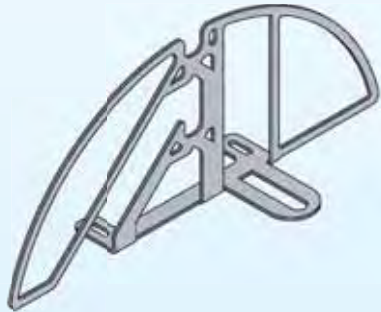


(単位:mm)

イージーセルフ	X	H	Y	Z	グラスランド	使用目的
Aタイプ	350	150	1,500	1,150	A	緑化基礎工と小崩落や剝離、落石に対する防止効果
Bタイプ	300	100	1,300	1,000	B	緑化基礎工として表面浸食等に対し基盤材の保持効果
Cタイプ	350	150	2,000	1,650	A(2個)	緑化基礎工と自然斜面で樹木を残す等環境を重視
Dタイプ	350	150	1,300	950	A	緑化基礎工とAタイプの防止効果を高める

グラスランドは、現場状況によって適正な品質を確保できない場合は、2個使用することもあります。

グラスランドA 詳細図
(イージーセルフ工法 350×150用)



グラスランドB 詳細図
(イージーセルフ工法 300×100用)

協 会 員 名

全国法面防災協会

事務局 〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町8丁7-7 (株) ケイエフ内

TEL 072-232-7760 FAX 072-232-6008